

# **J-PARC/MLF利用者懇談会**

## **第11回(平成26年度第3回)総会**

**日時:** 2015年3月18日(水)  
12:10~13:10

**場所:** つくば国際会議場エポカル  
中ホール200

# 次 第

1. 会長挨拶
2. 平成26年度活動報告
3. 平成26年度決算報告見込み
4. 平成27年度予算
5. 会員制度改革に関する状況報告
6. 意見交換
7. その他

# 1. 会長挨拶

(鳥養映子 山梨大学教授)

## **2. 平成26年度活動報告**

**(平成26年4月1日～平成27年2月27日)**

# ① 総括

- 幹事会, ならびに, 9分科会を組織して, J-PARC/MLFの中性子とミュオンを利用して研究を推進する研究者, 技術者が研究を促進するための活動を行っている.
- 分科会活動: 中性子産業利用推進協議会やCROSS東海ほかと連携して研究会を開催している.
- 会員への情報提供サービス: J-PARC/MLFの運転状況に関する各種情報, 課題公募, 中性子ならびにミュオンによる研究成果, 各種会合・行事など平成27年2月末現在で83件の情報提供を行った.
- 会員交流サイト: ユーザー広場立上げ, アンケート活用  
<http://mlfusersoc.org/top/>
- 会員増強の推進: 第4期で2名と1企業が入会し、3名が退会した。現在会員数: 278名, 協賛企業14社

## ② MLF利用者懇談会総会の開催

平成26年度第1回総会

開催日：平成26年3月19日

平成26年度第2回総会

開催日：平成26年7月15日

平成26年度第3回総会

開催日：平成27年3月18日(本日)

## ③ MLF利用者懇談会幹事会の開催

平成26年度幹事会

平成26年3月19日, 4月21日, 5月21日, 6月13日,  
7月10日, 10月15日,

平成27年2月19日

## ④ 分科会活動

平成26年度は下記のような分科会活動を実施済・予定である。

### 1)結晶解析・pdf分科会

平成26年12月2日

(於:エッサム神田ホール)

平成26年7月29日

(於:エッサム神田ホール)

### 2)液体・非晶質分科会

平成27年3月16日

(於:つくば国際会議場エポカル) 予定

### 3)ソフトマター・反応分科会

平成26年12月20日

(於:研究社英語センタービル)

平成27年2月24日

(於:研究社英語センタービル)

平成27年3月2日

(於:京都大学東京オフィス)

平成27年3月12日

(於:研究社英語センタービル)

### 4)生命物質分科会

平成26年10月3日

(於:エッサム神田ホール)

平成27年3月26日

(於:研究社英語センタービル) 予定

### 5)磁性・強相関分科会

平成26年10月23日

(於:エッサム神田ホール)

平成26年12月25日

(於:研究社英語センタービル)

### 6)半導体分科会

平成26年11月6日

(於:研究社英語センタービル)

### 7)電池材料分科会

平成26年12月2日

(於:エッサム神田ホール)

### 8)基礎物理・原子核分科会

(調整中)

### 9)微量分析・非破壊検査分科会

平成26年11月25日

(於:大阪科学技術センター)

## ⑤ 要望活動

- (1) KEK機構長選考における意見書について  
平成26年7月9日 KEK機構長選考会議議長宛

## ⑥ 会員へ情報配信サービス

J-PARC関係施設の建設状況やMLFの運転状況、ニュースやトピックスならびに課題公募、あるいは、各種会合などの開催案内など、中性子ならびにミュオンの利用に係る各種情報をメールサービスとして提供している。平成26年度は2月末現在で83件配信している。



# メールによる情報配信サービスの例

No.	年月日	タイトル
1	4月9日	【お知らせ】平成26年度上期(2014A)茨城県材料構造解析装置(iMATERIA)随時課題公募を開始しました
2	4月9日	【お知らせ】J-PARC News 第107号発行のお知らせ
3	4月22日	【お知らせ】第2回国際シンポジウム: Science at J-PARC開催のお知らせ
4	4月30日	【お知らせ】J-PARC News 第108号発行のお知らせ
5	4月30日	【お知らせ】茨城県中性子ビームライン(2014B期)課題公募予定について
6	4月30日	【お知らせ】第2回物構研特別シンポジウム開催案内
7	4月30日	【お知らせ】2014B期 J-PARC物質・生命科学実験施設(MLF)実験課題公募のお知らせ
8	5月1日	【お知らせ】Open-It先端エレクトロニクスDAQセミナー / 総研大講義「計測と制御」開催案内
80	2月20日	【お知らせ・お願い】MLF利用者懇談会総会開催のご案内 及び、出欠、委任状等ご提出のお願い
81	2月24日	[3/8締切] MLF利用者アンケートへのご協力をお願い
82	2月26日	【お知らせ】J-PARC News 第118号発行のお知らせ
83	2月27日	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所教員公募について(依頼)

## ⑦ 行事の共催・協賛・後援

主催：第6回中性子小角散乱解析法研究会

平成27年3月2日@京都大学 東京品川オフィス

共催：J-PARCシンポジウム

平成26年7月13-15日@つくば国際会議場エポカル

共催：iBIX 研究会(第6～8回) @いばらき量子ビーム研究センター

共催：平成25年度茨城県ビームライン・CROSSトライアルユース成果報告会

平成26年10月22日(水)@化学会館ホール

共催：分子システム研究における溶液散乱研究会

平成26年12月20日(月)@分子科学研究所 明大寺キャンパス

協賛：残留ひずみ・応力解析研究会

平成26年10月28日(火)@研究社英語センター大会議室

協賛：世界結晶年(IYCr2014)日本委員会

協賛：世界結晶年(IYCr2014)記念講演会

平成26年11月2日(日)@東京大学伊藤謝恩ホール

## ⑧ 会員の入退会状況について

	2012年 総会時	2013年度総 会時	入会数	退会数	2015.02現 在
会員	265名	279	2名	3名	278名
協賛会員	12社	13社	1社	0社	14社

# 3. 平成26年度決算見込み

科目	収入額	支出額	備考
収入			
H26年度繰越	568,732		
会費	140,000		一般会員(今年度分67名、過年度分3名)
協賛会費	170,000		協賛会員(今年度分12社、過年度分4社、新規会員1社)
企業展示展示費	330,000		協賛企業(70,000x3社)、非協賛会員(100,000x1社)、 広告展示(20,000x1社)
雑収入	48		利息
収入合計	1,208,780		
支出			
1. 事業費			
(1) 総会		48,276	7月総会21600円、3月総会26,676円
(2) 幹事会			
(3) 分科会		119,815	研究会(7/29、10/7、10、28)、分科会(12/20)
(4) 講習会/研修			
(5) 企業展示		70,000	ブース代等40,000円、懇親会費30,000円
(6) その他		65,988	パン代18,360円+トロフィー代47,628円
2. 管理費			
(1) 通信費		6,367	レンタルサーバー代:5219,請求書発送費(1148円)
(2) 振込手数料		972	会費返金(振込:324+648円)
(3) 事務用品費		258	封筒代
(4) 会費返金		10,000	(2000円x5名分)
3. 予備費			
支出合計		321,676	
次期繰越額		887,104	

# 4. 平成27年度予算

科目	収入予定額	支出予定額	備考
収入			
会費	556,000		278名×2,000円
協賛会費	140,000		14社×10,000円
企業展示展示費	300,000		企業展示4社（協賛会員 70,000×4社）+広告展示1社 （20,000×1社）
収入小計	996,000		
前期繰越額	887,104		
収入合計	1,883,104		
支出			
1. 事業費			
(1) 総会		60,000	弁当30,000×2回
(2) 分科会		620,000	100,000円×5分科会、30,000 円×4分科会
(3) 企業展示		70,000	
(4) その他		100,000	若手奨励賞費用
2. 管理費		20,000	サーバー代、切手代
3. 予備費		1,013,104	
支出合計		1,883,104	
次期繰越額		0	

# 5. 会員制度改革に関する状況報告(1)

## 5.1 会員との意見交換

2014年3月19日(水) 第8回(平成26年度第1回)総会

2014年7月15日(火) 第9回(平成26年度第2回)総会

### 意見

- ・見直しは必要。会員数は重要
- ・ユーザー全員加入(自動)/正会員・準会員2段階制

### 運営費・活動費

- ・無料/少額でも集めるべき/ボランティアで支えられるか?
- ・施設からの補助(研究会、委員会運営費)。シンポジウム展示収入
- ・支出が多い。目的を明確にして支出(活動)を抑える

### 問題提議

- ・施設からの独立性
- ・目的を明確に
- ・意識の高い会員と、そうでない会員
- ・組織が長続きしていくためにはどうしたらよいか
- ・ユーザー意見を施設運営に反映できる制度(運営会議委員等)
- ・懇談会意見がユーザーの総意と言えるか?

結論: 様々なご意見を踏まえ、幹事会で引き続き議論、次の総会で審議

# 5. 会員制度改革に関する状況報告(2)

## 5.2 施設側との意見交換 2014年8月21日(木)

参加者: MLF 新井D長、瀬戸副D長、事務局児玉猛様  
CROSS東海 横溝センター長、事務局勢司康雄様  
会員制度改革TF(福永、林、鳥養)、藤野裕己様

### 合意事項

- ユーザー全員加入を目指す。完全無料とするかどうかは継続審議  
ユーザー情報提供: 2015B期公募から「異論がない場合は自動登録」を明記
- 懇談会の活動内容はこれまで通りとする
- 資金の獲得方法

委員会活動: JAEA, CROSSからの調査委託。[受託者としての資格確認](#)の要あり。

分科会活動: **MLF, CROSS, IMSSと共催**(資料代、企画者、講演者旅費支援)

その他の活動: MLFシンポジウムの企業展示等を懇談会で計画

補足: ユーザー意見の反映方法

MLF施設利用委員会(設立趣旨に則り施設運営についての議論をするよう改善)

MLFシンポジウムを最大限に活用

IMSS運営会議に懇談会から委員推薦依頼

# 5. 会員制度改革に関する状況報告(3)

## 2014年9月10日 事務局調査結果の回答

- JAEAとの委託調査契約は、文科省またはJAEAの事業者登録が不可欠  
懇談会は法人格が無いので、契約の相手先となることができない(契約担当部)
- 各団体・組織等への分担金のような形での支出も今後は困難

## 2014年12月21日(木) MLFとTFの打合せ

出席者:MLF:新井、川北、中島、事務局:照沼、石川、藤野、TF:林、鳥養

### 合意事項

- 懇談会の活動として、研究会、小規模セミナーなどを主催し、重要な利用者間の交流を図ることが重要であり、施設側もできる限り支援
- 懇談会主催の研究会、分科会を、MLF、CROSSとの共催、JAEAプロジェクト課題研究会との合同開催により支援
- 懇談会幹事、分科会代表をMLFの研究嘱託に任命。プログラム会議旅費負担
- 懇談会独自の活動については、MLFシンポジウム企業展示を試行
- 現在の会員制度を1年間継続、その間にMLF等との共催による研究会開催等を大幅に実施、懇談会の活性化と、活動資金確保の目途をつける

# 5. 会員制度改革に関する状況報告(4)

## 5.3 幹事会(10月15日, 2月19日)

TF(9月26日, 10月31日, 11月12日, 12月5日)

- 調査委託案作成・検討、収入源検討(TF 9月26日)
- J-PARCセンター長、副センター長、CROSS幹部との意見交換(TF:10月31日)
- MLFD長との意見交換(11月12日, 12月5日)
- **MLFシンポジウムにおける企業展示の試行(TF, 幹事会:10中旬～3月)**  
(候補企業リスト作成、呼び掛け、連絡、経費負担) **企業展示4件、広告1件**
- **幹事、分科会代表のMLF研究嘱託等への登録(新規の方は2015年5月着任)**

## 2/19幹事会承認事項

- 会則改定を半年ないし1年延期して、次年度は試行期間とする
- ユーザーズオフィスは、MLF利用者のみMLを持っていない懇談会を通せば全てのユーザーに情報を流せるようにする



# (参考)会員の現状 2015.2月現在

正会員数**292**名(一般会員**278**名、協賛会員 **14**社)

今年度会費支払者**110**名(一般会員**97**名,協賛会員**13**社)

その半数がJ-PARC, CROSS, KEK研究者

約1,000人の一般利用者(一般課題に係る利用者)

内70名程度しか参加していない現状を改善



一般利用者を第一義とする会へ

利用者懇談会の位置づけ: Field



**6. 意見交換**

**7. その他**